



議会だより

なよろ

平成 29 年
3 月定例会

第 44 号

平成 29 年 4 月 1 日
発行



目次

定例会で決まったこと	2
議決結果・意見書	3
予算審査特別委員会の概要・議会改革調査特別委員会中間報告	4
総括質疑	5
代表質問・一般質問	6 ~ 12
議会報告会案内	13
各委員会活動報告	14 ~ 15
きぼう・編集後記	16

題字 中名寄小学校 宇都 さくら(うと さくら)さん

平成29年 第1回定例会 2月24日～3月17日

**名寄市農業・農村振興条例及び名寄市新規就農者等に関する条例の一部改正を原案可決
新規就農者等担い手支援の体制を充実**

平成29年第1回定例会は、2月24日から3月17日までの22日間開かれました。最終日には、会期内で経済建設常任委員会に付託された「名寄市農業・農村振興条例及び名寄市新規就農者等に関する条例の一部改正について」を委員長報告のとおり原案可決しました。議案審議では、条例案10件、補正予算9件、予算案9件、その他1件、意見書案5件を審議しました。このうち新年度予算案については、全議員による平成29年度予算審査特別委員会を設置して審議しました。また、3月7日の代表質問には2人、8日、9日の一般質問では9人の議員が市政の課題について質問しました。

条例の制定及び一部改正等

名寄市農業・農村振興条例及び名寄市新規就農者等に関する条例の一部改正
農業施策の円滑な推進を図るための名寄市農業振興対策協議会を条例に規定し、諮問機関である名寄市農業・農村振興審議会の役割を明確化しました。また、名寄市新規就農者等に関する条例の改正は担い手への支援体制の充実強化を図るため新規就農者等の育成支援に関する規定を整備したものです。

名寄市ふるさと応援寄附条例の一部改正について

ふるさと応援寄附でいただいた寄附金の使途指定について、「冬季スポーツの拠点化」「農業」「子育て」など特色ある7事業を掲げ名寄市総合計画（第2次）等との整合性を図りながら、寄附者がよりわかりやすく事業を選択できるよう改正するものです。
名寄市児童クラブ条例の一部改正
保護者の出勤時間や、児童の小学校登校時間の状況をふ

まえ、利用者の円滑な施設利用の促進のため、児童クラブの開館時間を午前8時に改正するものです。

主な補正予算

総合計画策定・推進事業費
名寄市総合計画（第2次）のダイジェスト版を作成する経費として204万円を追加しました。

防衛施設周辺整備事業費

道北なよる農業協同組合が実施する防除用無人ヘリコプター導入に対する補助として935万2千円を追加しました。

模範保育室整備事業費

看護師や保育士のリカレント教育・復職支援を行うことで、地域における人材不足に対応するため名寄市立大学に模範保育室を整備しようとするもので、1億3,684万8千円を追加しました。

大学教育振興事業費

市立大学の学内ネットワークシステムにおける強固なセキュリティ体制の構築に必要な経費として3,600万円を追加しました。

臨時会（1月31日）

平成29年第1回臨時会が1月31日に開催されました。第2期名寄市地域福祉計画の策定、畜産クラスター事業にかかる補正予算について審議され、原案のとおり可決されました。

第2期名寄市地域福祉計画を策定

市は第1期名寄市地域福祉計画のこれまでの取組の成果と課題をふまえ、今後5年間の地域福祉を推進するにあたっての指針となる「第2期名寄市地域福祉計画」を策定しました。「市民みんなが安心して健やかに暮らせるまちづくり」を基本理念とし、市民と行政がともに手を携え協働して地域福祉を進めていくことを目標としています。

地域福祉計画は平成28年第4回定例会で議決事項に追加され、今臨時会に提案されました。計画の進行管理、市民の権利を守る体制整備等の質疑が行われ、原案のとおり可決されました。

平成29年度予算審査特別委員会

全会計432億1,207万6千円を可決

名寄市の平成29年度予算は、一般会計では前年度比5・7%減の221億4,936万1千円で4年ぶりに前年度当初予算を下回りました。また、特別会計6会計では前年度比2・3%減の82億4,866万6千円、企業会計2会計を含む全会計総額は前年度比3・4%減の432億1,207万6千円となりました。

2月24日の本会議で全議員により構成する平成29年度予算審査特別委員会（奥村英俊委員長・東川孝義副委員長）を設置して予算案が付託され、3月14日、15日、16日、17日の4日間にわたり慎重な審査が行われました。

最初に各会計にかかわる横断的な事項に対する総括質疑を各会派の代表2名によって行い、その後、各会計の審査に入りました。

平成29年度は、名寄市総合計画（第2次）のスタート年度となることから、重点プロ

ジェクトや総合戦略を中心とした様々な施策や事業についての質問や、合併算定替による普通交付税の減額なども考慮した健全な財政運営を求めながらも市民生活に直結する高齢者福祉や子育て支援の充実、除排雪対策、農商工業の振興、教育環境の向上についてなど述べ102件の質疑が行われました。

全会計について審査の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定し、3月17日の本会議で報告しました。



奥村英俊委員長（左）と東川孝義副委員長（右）

議会改革調査特別委員会

市民に信頼される議会を目指して

当委員会は平成27年第3回定例会において設置され、各会派から選任された8名の委員で一昨年9月から現在まで計16回の委員会を開催し議論を進めてきました。

「市民に信頼される議会を目指して」を基本的姿勢に掲げ、行政への監視機能と政策提言能力の強化、議会審議の活性化、市民に開かれた議会運営と情報公開の3つのテーマに基づき議会改革に取り組んでいるところです。

行政への監視機能と政策提言能力の強化については、常任委員会の機能を活発化させる取り組みを優先課題とし、各委員会において年間のテーマを設定し、先進地視察や各種団体等との意見交換を行い、調査結果を集約し政策提言に結びつける委員会活動を実施していくという方向性で共通認識が図られました。現在、

各常任委員会がより活発な活動を行っており、今後は成果となりうる政策提言に結び付けていきます。

市民に開かれた議会運営と情報公開については、従来年1回の実施であった議会報告会を、年2回の開催とすることとしました。開催内容についても、議会側からの一方的な報告ではなく、意見交換を中心とし市民の意見の的確な把握に努めることとしました。

また、町内会や各種団体、若年層などを対象とした意見交換会の実施にも今後取り組んでいくこととしています。

現任期も折り返しを迎え、今後は議会基本条例に基づく活動の検証と改善策の検討に取り組み、より市民に信頼され必要とされる議会のあり方について議論を深めてまいります。

予算審査特別委員会 総括質疑



市政クラブ・新緑風会 大石 健 二委員

マチづくり29年度予算の中身

2期目から3期目へ

問 29年度予算は加藤市長2期目の最後の本格予算。29年度予算執行と2期目の棟上げから3期目の魂入れに向けた決意を。

答 新年度は総合計画（第2次）がスタートする大事な年。人口減など大きな課題に多様な側面からのマチづくりが肝要だ。確実に推進するために汗をかいていく。

生産人口の拡大政策は

問 減少の一途をたどる総人口と歩調を合わせるように生産人口（15～64歳）も減少している。医療・介護や建設業など専門職が慢性的に人手不足。男女ともに20～34歳の若年者の転出超過がみられるが、地域経済活性化への生産人口拡大施策は。

答 地方創生の取り組みを加速させ総合計画の人づくり、暮らしづくり、元気づくりをめざすマチづくりを進めてい

く。

■ 厳しい財政状況とは

問 健全化指数や財政力指標はいずれも青信号で黒字決算を維持している中で、今後とも厳しい財政状況が続くという市政の背景は。

答 33年度までに交付税合計額13億3,500万円が縮減され、歳入に大きな減額が生じる。国税収入に伸長がない限り、30年度以降の地財対策は厳しい状況にあり、市独自の課題と国の課題に慎重な推計で臨むことが肝要だ。



山積する課題が重くのしかかる名寄市（写真は名寄市街地）

■ 財政状況の認識は



市民連合・凜風会 佐藤 靖 委員

計画のあり方を問う

問 29年度の予算訓令などは11月1日付で発令され、その後総合計画（第2次）にかかわる中期財政計画、今後の財政規律を盛り込んだ名寄市の財政課題が示された。予算見込み額と原課要求額の差は16億1,000万円の収支不足、市長査定時で13億6,700万円だった。改めて名寄市の財政状況に対する認識は。

答 公表の時期に差はあるが、庁議や部次長会議などを通して周知を図っている。財政の数値は悪くはないが、決して楽観視できる状況にはない。

■ 計画の取り組み姿勢

問 29年度からスタートする総合計画（第2次）だが、初年度に2億円で盛り込まれていたサンピラー温浴施設改修が先送りとなった。今後の見通しは。楽観視できない財

政事情にあるならば、国のガイドラインを待つて32年度に個別施設計画、47年度までに総床面積13%削減の公共施設等総合管理計画では遅すぎるのではないかと。庁内横断的組織を作り早期に取り組むべき。

答 サンピラー温浴施設改修については、内部協議で再度検討となった。新年度早々に方向性を示したい。公共施設等総合管理計画についても、新年度に庁内での協議体制を確立し、できることから対応していく姿勢でしっかり取り組んでいく。



改修工事が先送りとなった「なよろ温泉サンピラー温浴施設」

代表質問

着実に2期目市長公約を執行



市政クラブ・新緑風会

東 千 春 議員

問 市長任期最終年にあたり
今期3年間の評価と今後について。

答 市政を担う6つの柱について掲げた公約はそれぞれ取り組んできた。次年度からの総合計画（第2次）は基本理念に基づき「これからも誰もが住み続けたいと思える北の未来を拓く都市」を目指したい。

問 名寄市公共施設等総合管理計画の運用は。

答 国の指導により平成32年までに「個別施設計画」の策定を進めたい。

問 保健と高齢者福祉について
介護職員の育成と確保の状況について。

答 介護職員初任者研修受講費用助成では16名中7名が

対象者となり、介護事業所の職員として雇用又は内定され成果が表れた。今後も人材確保に努める。

問 高齢者の具体的運動等の機会を増やせないか。

答 来年度からは町内会等の集まりで介護予防に取り組めるようにテレビにつなぎ動画をしながら運動する生活総合改善機器を貸し出す。

問 教育行政について

答 ENRAYホールのさらなる市民参画による振興について。

問 本年度は23事業中11事業が市民との協働によるものとなった。助成金を含め事業実施の相談と実行委員会立ち上げ支援を行い協働による文化芸術振興を図りたい。



みんなで元気な老後を

問 国や道への要望と取り組み
JR北海道の存続に向けて地域自治体や商工会議所などと連携して動きをつくる必要があるのではないか。

答 国に対しての要望と共に観光ルートの活用など広域で利用促進に取り組まなければならぬ。

問 北海道縦貫自動車道の進捗と名寄からの延伸について。

答 当初計画から若干遅れはあるが概ね順調と聞く。名寄区間は用地説明会が行われ個別の相談に入った。風連乗降口は開発局と引き続き検討する。様々なことを想定したい。

議会日誌 12~3月

- 12/19 議会改革調査特別委員会
- 12/20 議会報特別委員会
- 1/18 各会派代表者会議
- 1/24 議会運営委員会
経済建設常任委員会
- 1/26 上川北部市町村議会
議長定例会（土別市）
- 1/31 平成29年第1回臨時会

- 2/1 全国市議会議長会基地
協議会総会（東京都）
- 2/9 経済建設常任委員会
全国市議会議長会理事会
全国市議会議長会評議員会
- 2/13 市民福祉常任委員会
- 2/14 総務文教常任委員会
経済建設常任委員会
- 2/15 議会報特別委員会
- 2/17 各会派代表者会議
- 2/20 議会改革調査特別委員会

- 2/21 議会運営委員会
議会報特別委員会
総務文教常任委員会
- 2/24 平成29年第1回定例会
開会
- 3/2 経済建設常任委員会
- 3/10 議会改革調査特別委員会
- 3/14 平成29年度予算審査特別委員会（～17日）
- 3/16 議会運営委員会
- 3/17 定例会閉会
議員協議会

市民にもっと平和と安心を



市民連合・凜風会

熊谷吉正議員

名寄市の緊急課題について

清峰園、しらかばハイツ

の介護職員確保と満床用途は

で16名受講と資格保持者への

働き等、新規採用確保で7月

にはどちらかを満床にしたい。

南スーダン自衛隊派遣

に、いつかは名寄からもと不

安が広がる。市民である自衛

官の命を守るため市長の対応

は。

駐屯地と市は緊密な関

係にあり今後の動向を見守る。

行政執行方針と予算編成

総合計画（第2次）が始

まるが、市民目線を大切に

した市政運営、積極的情報公開

を求める。

私の公約にある「オール

なよるで協働のまちづくり」

と同じ。情報共有を進め、総

計議論で指摘されたわかりや

すい説明責任を果たしていく。

市長査定で、総計前期実

施計画と予算案の差異は。

13億7千万円収支不足

となり、優先度を見極めサン

ピラー温泉改修2億円は内部

議論熟さず次年度に。新規に

保育所の冷房、要介護高齢者

の紙おむつ用ごみ袋支給、除

排雪支援で機械のレンタル事

業等予算化した。不足分を基

金で補い収支調整を図った。

教育環境改善で安心向上を

特別支援教育支援員の

増員等予算化されたが、子ど

もと教師の触れ合う時間確保

は充分ではない。更に努力を。

現場の多忙感を認識し、

教員増等改善に努めていく。

保健・医療・福祉・産業

保健・医療・福祉・産業

国保制度の改革で8月

に精度の高い保険税案が出る。

これ以上の引上げは市民生活

を圧迫するが、その対応は。

結果にもよるが、市民関

心事でもあり激変緩和もある。

市立病院の資金不足の

心配はないか。設置者の対応

は。

年度末以降の医業収入

にもよるが心配はある。市立

病院と連携して対応する。

1年後の米の減反廃止

及び直接支払が無くなること

の対応で農業団体との連携強

化を。

国の関与はなくなるが

北海道の検討会議で調整して

いく。国の農政変更によるが、

農業を守るため連携していく。



良かったPKO撤収、いいね憲法！

議員会新年研修会

1月16日。名寄市議会議員

会恒例の新年研修会を開催し、

「暮らしやすい社会を考え

る」をテーマに、名寄市男女

共同参画推進委員会副委員長

の寺尾導子さんにご講演いた

だきました。講演の中から、

経済的な部分を主な理由とし

た貧困家庭が増えており、特

に、男性に比べて女性の貧困

率が高いこと。男女の収入は

年齢が上がるとともに大きく

差が開くこと。その理由とし

ては女性の多くが産休や育児

などで仕事を休む時期があり、

この間に昇進する男性との間

に収入の差が生じ、男女格差

に繋がっていることなど、男

女共同参

画の視点

と、男女

差別や格

差のない

暮らしや

社会づくりに

ついて認

識を深め

ました。



男女共同参画の推進と暮らしやすい社会づくりを学ぶ

一般質問



ファミサポ事業の充実を

公明 高橋 伸 典議員

緊急的預かりの実施を

問 ファミリー・サポート・センター事業の現状と課題は。また、緊急時の預かり対応は。

答 登録会員数は徐々に増えているが、利用状況は10月2件、11月3件、2月11件で伸び悩んでいる。提供会員と利用会員のマッチングに時間を要するのが課題。会員の声を聞きながら利用推進を図る必要がある。緊急一時預かりは双方が合意すれば提供会員の自宅ではなく、幼児スペースなどがある「ここほっと」を活用することも可能であり、今後会員に緊急対応できるよう周知していく。

冬季スポーツ拠点化を

問 ピヤシリススキー場を早期にオープンすることで合宿や大会誘致が可能となる。ゲレンデを横切る排水を暗渠にすることで合宿受け入れのためアルペン専用コースの施設整備の考えは。



安心できる預かり体制を

答 ゲレンデ全体の整備や研修施設の整備とあわせ現状での利用促進を図るため、一般開放に先立って合宿誘致に特化したコースの可能性やソフト面での受入体制の整備を進めたい。明渠から暗渠への切り替えは、岩盤が多く、明渠工事でも岩石等の撤去作業が困難を極め、費用や工事内容からも課題があるが、本年夏に現場を見て調査研究する。

他の質問・名寄市公共施設等総合管理計画の推進・広報活動のあり方について



食育の推進を求める

日本共産党 川村 幸 栄議員

学校給食の役割について

問 食育推進計画では地産地消をうたっている。地元食材活用の現状は。

答 名寄産を優先し、重量ベースでは62・4%、主食米や赤飯給食では100%地元産を使用している。

問 食生活の乱れ等が指摘され、食育の重要性を考えると学校給食や栄養教諭の役割は非常に大きく、増員を求めたい。

答 栄養教諭は専門性を十分に生かし地域と学校の架け橋として重要。増員を道教委へ積極的に要請したい。

問 給食費の補助が全国的に広がっている。道内でも補助がある市町村数は79、その中で全額補助は14、多子世帯への全額補助は10自治体である。子どもの健やかな成長を保障し、子どもの貧困予防対策としても、学校給食費の無償化は大きな意義がある。考

えは。

えは。

答 子育て支援や定住促進などの観点から様々な支援策を推進しているが、どのような支援策が望ましく有効か、見極める必要がある。

名寄の農業を守りたい

問 基幹産業である農業を守ることは、安心・安全な食を守り、地域経済を豊かにする。規模拡大、所得増大を強調する国の農業政策を進めることで名寄の農業を守ることができるとの考えは。

答 持続可能な農業の推進を基本に、次年度の再生産可能な所得の向上が第一と認識する。

「いただきますいむ」は情報がいっぱいです

一般質問



いじめ防止と空家対策

名風会 野田 三樹也 議員

いじめ防止サミットについて

問 各学校のいじめを防止する取り組みの状況等について、成果と今後の課題は。

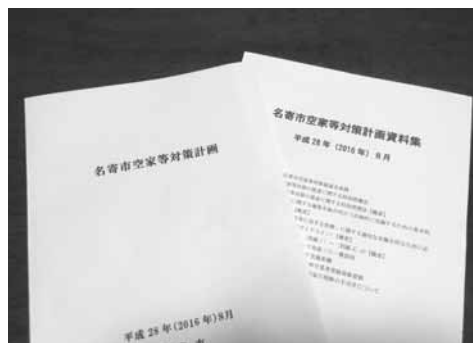
答 いじめをなくすためには、人間関係づくりを基盤とした集団づくりが大切なことから、「名寄市小中学校いじめ防止サミット」を実施している。成果としては参加した各学校の児童会・生徒会の代表者がいじめを根絶すること、いじめを生まない学校を必ずつくるという意識を高められた。課題としては「名寄市小中学校いじめ防止宣言」の浸透状況が十分に満足できるものではないため、各学校の児童会、生徒会活動において、いじめを絶対に許さない学校、学級づくりの取り組みを推進する。

空家対策の推進について

問 全国規模で空家問題が深刻化し特別措置法が平成27年5月に施行されたが、本市

の空家対策等の取り組みは。

答 名寄市空家等対策計画では、空家等対策として3項目に分けて、空家等の発生抑制の取り組みとして所有者が適切に管理することの啓蒙活動 適切に管理された活用可能な空家の利用促進を図るために名寄市空家バンクを開設 適切に管理されていない空家等への対策として庁内関係部署の役割分担等実施体制を整備し、特定空家等の認定及び措置に関する事項等を定めている。



適切な空家管理を



安心なまち名寄

市民連合・凜風会 高野 美枝子 議員

子どもたちの幸せのために

問 ファミリー・サポート・センター事業、親子お出かけバスツアーの現状と今後は。

答 ファミリー・サポート・センター事業については提供会員が少ない状況にあるが、利用方法を周知し、会員の声を聞きながら利用促進を図りたい。親子お出かけバスツアーは非常に人気があるので今後も工夫しながら継続する。

高齢者の安心のために

問 健康寿命を延伸するための取り組みは。

答 高齢者の健康づくりについては介護予防に向けた取り組みなど保健センターと地域包括支援センターが連携して取り組んでいる。

問 市内の介護施設の状況、特別養護老人ホームの運営について問う。

答 市内の介護保険施設は医療法人等の民間法人が運営するものを含め定員総数46

1名11施設となっている。市内介護保険事業所でも介護職員

の不足により介護人材の確保が困難になっている。介護人材確保緊急対策事業として29年度から介護保険事業所を対象とした介護職員定着に向けた講演会や介護版ジョブカフェ等を開催予定。市が設置している清峰園・しらかばハイツの両施設については、いずれかの施設で入所定員を満たすことができるよう体制を整えたい。

他の質問・非正規労働者の処遇改善について他



人気の親子お出かけバスツアー

一般質問



市民と協働の街づくりを

市政クラブ・新緑風会 東川 孝 義議員

利雪親雪の施策推進は

問 利雪親雪事業の取り組みについて、時代の流れとともに条例の理念や意識が薄れているのでは。名寄の冬を楽しく暮らす条例の市の責務と市民の役割は。また、各種事業の今後の課題とあり方は。

答 これまで市民と行政との協働により、雪や寒さを活かして、冬の生活をより暮らしやすく、楽しいものにするために多くの施策や取り組みが進められ、名寄の冬に欠かせない生活文化として、定着している。今後も、庁内組織による意識の統一をはかり、条例の理念に基づく事業の推進や市民への適切な啓発を図る。

答 10年の総括は、策定委員

会の中で、各分野にわたり検証を行い一定の成果があった。今後は本学を取り巻く環境を重視した中で、地域に根ざした市立大学として、将来構想の中で運用を進めて行く。4月開館の新図書館は専門書が多いが、絵本や一般の図書もある。コミュニケーション教育研究センターを一階に配置したことにより、センターと接する関係団体や地域住民との交流が図られる。

連携のとれた支援はいかに

問 教育相談から、児童生徒や家庭に対し支援が必要と捉えた場合、健康福祉部と教育部が連携してとりうる支援は。

答 各学校では、全ての教職員が学習場面はもちろんのこと、行事や当番活動等全ての学校活動において相談的な働きかけを行っている。具体的に支援が必要と捉えた場合には、状況に応じ関係機関が連携し支援内容を検討してきている。ネグレクトに対しては、健康福祉部ことも未来課に「名寄市要保護児童対策地域協議会」開催を要請、ケース検討会議で、子どもが所属する学校の教職員、子ども未来課、社会福祉課、教育委員会等の職員が連携し、対応してきている。

学校教育充実を目指した支援は。

答 平成27年2月、市内の産学官代表などで組織する「名寄市内高等学校在り方検討委員会」を設置、魅力ある高校づくりのための支援策について検討してきており、要望の高かった就職・進学に役立つ資格取得に対する受験料補助を新年度から開始する。また、部活動支援による魅力アップを求め、外部指導者の派遣等、市長名で道教委へ要望事項を提出している。

他の質問・国際交流の推進について、名寄市立大学を核とした国際交流について

魅力ある高校づくりを目指して(上:名寄高校、下:名寄産業高校)

問 地域と大学がより近く

開学10周年を経過した

検証と課題は。コミュニケーション教育研究センターの事業運営と新図書館の有効活用と運営のあり方は。

名寄市立大学図書館
Nayoro City University Library



オープン間近の大学図書館

問 市内公立高校出願倍率が1を下回る中、志願者増につながる支援や、特徴ある高

校教育充実を目指した支援は。



魅力ある高校づくりを目指して(上:名寄高校、下:名寄産業高校)

ネグレクト：養育すべき者が食事や衣服の世話を怠り、放置すること。育児放棄。

一般質問



市政クラブ・新緑風会 塩田 昌彦 議員

地域経済活性化のために

公共の物品購入は地元調達を

問 物品の地元購入割合と地元企業へ優先的発注の取り組みは。

答 地元発注の割合は、指名競争入札で83%、見積合せで92%となっており、契約の適正な確保ができる範囲内において市内業者を優先的に指名。今後とも引き続き取り組むことで適正な契約を維持しながら中小企業の発展及び地域経済の活性化に取り組む。

問 経済の元氣化に向け行政の果たす役割として、入札の購入最低制限価格の設定など工夫を検討する考えは。

答 他自治体の動向など、研究する。

融雪溝の維持・管理状況は

問 6丁目商店街の市道除雪状況と融雪溝活用について。

答 市道の除雪は、通常のかき分け除雪と融雪溝の維持管理組合による融雪溝への投雪を実施。融雪溝設置から26年



融雪溝への投雪により景観と安全を確保

経過し設備の劣化が懸念されることから、保守点検を行い維持管理に努める。

問 なよせ通り商店街も個店数の減少や高齢化などの要因により融雪溝の維持・管理が難しい状況。今後の対策を。

答 除雪後の対応など、現状を踏まえ、なよせ通り商店街振興組合と維持管理のあり方など協議する。

他の質問・冬季版ナショナルトレーニングセンター誘致活動について・職員採用に係る女性面接官登用について



市民連合・凜風会 佐久間 誠 議員

高齢者の「通いの場」増設を

窓口手続きの簡素化を

問 低所得者への消費税還付を目的とする臨時福祉給付金支給について、煩雑な手続きを苦手とする高齢者もいることから簡素化はできないのか。また、現金での支払い要望時には、金融機関の口座番号写しは不要ではないか。

答 受付事務の簡素化について市民の負担が少なくなるよう事業を進めていきたい。ご指摘のとおり現金での支払い要望時には金融機関の口座番号写しは不要である。

問 高齢者の社会参加と生きがいづくりなどを通した「通いの場」の増設について本市の考えを伺いたい。

答 新年度より新たに「通いの場」を実施する団体・個人に運営費の助成制度を設けた。設立助成として4万円を上限、活動助成として6万円を上限に会場使用料や保険料などの助成を行う。

広域連携で処理コスト削減を

問 有害鳥獣の鹿の処理について現在は焼却処分されているが、中川町では資源活用に取り組まれている。本市で捕獲した鹿を原料として提供することで処理コストも低減されるのではないか。

答 原料としてのニーズがあるか、捕獲方法を変えた場合に係る負担や効果について調査が必要である。

他の質問・JR宗谷本線問題について



地域介護予防活動支援事業として「通いの場」に助成

一般質問



山田 典 幸 議員
市政クラブ・新緑風会

将来の地域農業の目指す姿は

農業・農村振興計画について

問 新年度からスタートする第2次計画において、農業者の意見等をどのように集約し計画に反映させたのか。また地域農業の目指す姿と指針を明確化し、計画内容を農業者がより認識できるように、ダイジェスト版を作成すべきでは。

答 計画の策定にあたり、現状や課題について関係機関・団体からの聞き取りや、農業者を対象にアンケート調査や地域懇談会を開催し意見を集約した。新規就農者や後継者への支援策、ICTなど新技術の導入、労働力確保の取り組み等計画に反映させた。ダイジェスト版については、計画内容や目指す姿、指針が分かりやすいものになるようまとめたいと考えている。

スノーエスカレーター設置を

問 小中学校のスキー授業等において、初心者への指導

の際は第1ゲレンデ下部の緩斜面を利用し登り降りを繰返し行っている。指導者や子どもたちの負担軽減はもとより、スキー場の利用拡大のためにも、近年各地で導入されているスノーエスカレーターの設置を検討すべきでは。

答 まずは実際に導入しているスキー場を視察するなど調査をしたい。その上で教育的観点やスキー場の利用拡大の視点を踏まえ、今後のスキー場の整備の方向性の一つとして取り上げ協議検討したい。



子どもたちで賑わうピヤシリスキー場

平成28年度における行政視察の受入状況

道外等の市町村議会からの行政視察を受入していますのでお知らせいたします。

視察年月日	自治体名(議会名)	視 察 事 項	視察人数
平成28年 5月19日	北海道赤平市	・手話言語の環境整備について	14名
平成28年 6月22日	北海道旭川市	・子育て支援事業について	1名
平成28年 7月 5日	茨城県土浦市	・地場製品の取り組みについて	5名
平成28年 7月13日	福井県勝山市	・農業振興センターの取り組みについて ・農業担い手の育成と確保について ・公立学校統廃合の経過と課題について	5名
平成28年 7月14日	群馬県太田市	・チャレンジデーの取り組みについて	8名
平成28年 7月14日	福島県新地町	・風連本町地区第1種市街地再開発事業について	7名
平成28年 7月28日	京都府福知山市	・公立大学の経営充実について	3名
平成28年 8月 2日	岩手県奥州市	・名寄市みんなを結ぶ手話条例と手話言語の環境整備について	8名
平成28年 8月 3日	高知県四万十市	・LINEの活用について	6名
平成28年 8月25日	茨城県水戸市	・名寄市民文化センター大ホール「EN-RAY」整備事業について	1名
平成28年 9月 2日	長野県阿智村	・なよろ市立天文台きたすばるについて	13名
平成28年10月24日	徳島県阿南市	・ひまわり観光推進事業について ・名寄市食育推進事業について	4名

ICT: コンピュータやインターネットなど情報・通信技術

議会報告会を開催します

例年、第2回定例会終了後に開催していた議会報告会を、今年度より年2回開催いたします。平成28年7月に開催した議会報告会以降の議会活動について報告するとともに、市民の皆さんの議会に対するご意見を伺う、意見交換の場としたいと思います。どなたでもご参加いただけます。お近くの会場にぜひお集まりください。

月 日	時 間	場 所
4月17日(月)	午後1時30分～	名寄市総合福祉センター(多目的ホール)
	午後6時30分～	智恵文多目的研修センター
	午後6時30分～	名寄東小学校(多目的ホール)
4月18日(火)	午後1時30分～	ノースタウンふれあい会館
	午後6時30分～	ふうれん地域交流センター(大会議室)
	午後6時30分～	名寄市民文化センター(大会議室)

議員協議会 (平成29年3月17日)

本会議終了後に開催された議員協議会では3件についての説明を受けました。

名寄市行財政改革推進計画では、効率的で質の高い行政運営、持続可能な財政運営、市民と協働の行政運営の三つの基本方針を定め、強固な財政基盤作りを目指すとの説明を受けました。

観光振興計画では、市民検討委員会で具体的な戦略事業の見直しを行い、目標値を設定したとの説明を受け、議員からは合宿受入れ人数増への宿泊施設や観光資源へのPR強化、おもてなしの案内表示など、数件の意見が出されました。

名寄市社会福祉事業団と風連爽風会との合併については、施設運営の内容等を総合的に判断した結果、爽風会を市社会福祉事業団が引き継ぐとの説明を受けました。



説明を受け、質疑を行った議員協議会

議会スナツプ

ふうれん冬まつり

第33回ふうれん冬まつりが2月18日、19日に開催されました。今年も議員有志により雪像づくりを行いました。

毎年、その年の干支をメインにしたすべり台を作っています。議員同士で日程の調整を行い、慣れない作業ではありますが、すべり台を楽しみにしてくれている子どもたちの喜ぶ笑顔を思い浮かべながら作業を進めました。

冬まつり当日は、たくさんのお子ともたちの笑顔と歓声があふれ、作業の疲れや苦労が吹き飛ばされました。子どもたちに喜んでもらえる雪像ができあがりました。



子どもたちに喜んでもらえる雪像ができあがりました

委員会活動をお知らせします

総務文教常任委員会

当委員会は2月14日に委員会を開催し、教育委員会からは定例会上程議案の概要について、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について等の説明を受けました。また3月10日から開催されるジュニアオリンピックカップスキー大会の準備状況について説明を受けました。

総務部からは道北バスの運行補助、風運御料線の運行見直し検討について、ふるさと応援寄附条例の一部改正についてなどの説明を受けました。2月21日には名寄市立大学にて佐古学長をはじめ各学部長、学科長、事務局職員の出席を求め、「名寄市立大学の将来構想について」と「新図書館について」の説明を受けました。将来構想では、18歳人口の減少や競合する他の大学の増設、私立大学の公立化など厳しい環境にあっても、本校として存在意義を確立するため、開学時の基本理念である「保育医療福祉の連携と協働 少人数教育の実践」

市民福祉常任委員会

当委員会では2月13日に委員会を開催し、2月24日開会の第1回定例会に上程予定の条例改正等について各都府県から報告、説明が行われました。

市民部からは市税条例等の一部改正及び平成29年度税制改正に伴う国民健康保険税条例改正、国民健康保険税軽減拡大について説明が行われました。市税条例改正の主なものは自動車取得税廃止と環境性能割が創設され、燃費基準値達成度に応じて非課税、1%、2%の3区分で課するほかグリーン化特例期間の延長、住宅ローン控除期間の延長などとしていきます。

健康福祉部からは、乳幼児紙おむつ用ごみ袋支給事業、ファミリー・サポート・センター事業、新しい認定子ども園名寄幼稚園の竣工予定について経過報告が行われました。市立病院からは平成28年度第3四半期損益計算書推計値対比表、地域枠医師制度、新年度からの診療体制予定について報告がありました。損益

計算書では当期純利益マイナス5億3千万円計上となっていること、新年度からの診療体制については研修医総数12名から14名への増が見込まれていること、看護、医療技術等職員については国家資格試験の可否判断後に決定されるとの報告がありました。これらに対し各委員から、市立病院の経営見直し、「ひまわりらんど」の改修状況、特別養護老人ホームの介護人材確保、「ここほっと」の活用状況、臨時福祉給付金事業等の質疑を行いました。



充実した大学図書館の完成(上:2階図書室、下:1階講堂)



びかびかの認定子ども園名寄幼稚園

委員会活動をお知らせします

経済建設常任委員会

1月24日と2月14日に開催した委員会では所管の事業について建設水道部から下水道事業の地方公営企業法適用基本方針、水道事業水質試験等の受託規定見直しについて、経済部から名寄市農業・農村振興条例及び名寄市新規就農者等に関する条例の一部改正について、第2次名寄市農業・農村振興計画、担い手支援策、観光振興計画見直し案について説明があり質疑を行いました。また、第1回臨時会に提出予定の畜産クラスター事業に関する補正予算案、第1回定例会に提出予定の補正予算案について説明を受けました。

2月9日は、1月19～20日に行なった岩見沢市と富良野市の視察の内容について、委員間で意見交換しました。また、視察や町内会長との意見交換を元にした5項目の提言に向けたたたき台を示しました。

3月2日は第1回定例会で付託された「名寄市農業・農

議会運営委員会

1月24日に開催した委員会では平成29年第1回臨時会の日程及び議事運営について協議しました。

2月21日と3月16日に開催した委員会では平成29年第1回定例会の日程及び議事運営等を協議しました。

2月21日の委員会では、会期を2月24日から3月17日までの22日間とすること、3月7日に2会派が代表質問を行い、一般質問は3月8日に5名、3月9日に4名合計9名の議員が登壇することを確認しました。

上程議案は27件で、議案第9号名寄市農業・農村振興条例及び名寄市新規就農者等に関する条例の一部改正についてを経済建設常任委員会に会期内付託することとしました。議案第19号平成29年度名寄市一般会計予算の他、6特別会計予算と2事業会計予算を、全議員で構成する予算審査特別委員会に付託し審査することとしました。

追加議案は1件の予定で最

終日に審議することを確認しました。また、最終日本会議終了後議員協議会を開催することを確認しました。

3月16日の委員会では、最終日の本会議において2件の追加議案が上程される予定であること、経済建設常任委員会及び予算審査特別委員会の委員長報告を行うこと、意見書案第1号～第5号の審議、委員の派遣報告を行い閉会とすることを確認しました。

また、4月に開催する議会報告会の日程、場所、班体制等について確認をしました。



順調に進んだ排雪作業



住民の声で議会の活性化を!!
議会を傍聴しませんか!

定例会は3月・6月・9月・12月の年4回、また、臨時会も必要に応じて開催されます。
◇議場での音声を鮮明に聴くため、携帯型受信機を用意しています。
◇問い合わせは議会事務局(☎01654-3-2111)へお申し出ください。

☆ き ぽ う ☆



活気あるまちづくりを目指す若者に期待

名寄市西4条南8丁目 倉本 萬里

3年前、第1回ハロウィンパーティーのお手伝いをした

とき、若い人々(含名寄大学生)の知恵と力みなぎる行動力に接して、大きな感動を覚えました。今年度参加した行事です。

「8月6日名寄水祭り復活と結婚式イベント実施」「10月16日市街地ローラースキーレース開会式の手伝いと直前のフラッシュモブ実行」

「10月29日第3回ハロウィンパーティー」「2月7日～12日名寄雪フェス彫刻選手団への通訳とおもてなし」等。

どの催しも大好評でした。企画会議や進行状況の報告、仕事や家事の合間をぬっての活動、そして、より良い企画を目指して熱心に語り合う反省会議に参加して、再度感動を受けました。

若者たちの知恵とエネルギッシュな行動力で『活気ある名寄市が復活』することを信じて、私なりにお手伝いをしているところです。



名寄経済の更なる発展へ
名寄市西7条南4丁目 佐藤 駿

私は2年前より名寄商工会議所の職員として働いています。

入所のきっかけは大好きな名寄の経済を支えることができ、商工業者の支援はもちろん、街づくりから観光振興まで幅広く仕事に取り組めるといふ仕事に惹かれたためです。

私の仕事の中で大きな割合を占めているのが、労働保険業務・確定申告相談業務です。

両業務とも会員様とコミュニケーションを取り、信頼関係を構築しながら進行していく仕事内容に非常にやりがいを感じています。また、様々な地元企業の会員様と接する事によって自らの視野が広がっていることを実感しております。

まだまだ未熟な私ではありますが、仕事を通じて地域の方々や会員様に「きぼう」を届けられるように頑張っていきたいと思っております。

表紙の写真は「名寄ピヤシリアルペンスキー少年団」です

名寄ピヤシリアルペンスキー少年団は結成から43年、数多くの子どもたちを育成し、現在では全国大会等で活躍したOBが指導者として加わり、日々楽しく活気ある練習を行っています。今シーズンも全道・全国規模の大会で優勝・上位入賞するなど好成績を収めています。興味のある方はスキー場で気軽に声をお掛けください。

本定例会には34人の市民の方に傍聴にきていただきました。

一人でも多くの市民の皆さんが市政に関心を持って議会に足を運んでいただけることをお待ちしております。



編集後記

2月24日開会した今定例会は、平成29年度の予算審査を含め3月17日閉会しました。加藤市政2期目の最終年、総合計画(第2次)スタートの年の予算が可決されました。今定例会中には、ジュニアオリンピック大会が本市で開催され全国的なジュニアアスリートの熱戦を目の当たりにし感動しました。議会改革も進み、議会だよりの編集にも工夫をとり組んできました。少しでも多くの市民のみならず手に取っていただきたい思いから、今号から一般質問の扱いを少し変更し、常任委員会の報告欄については倍にしました。常任委員会の様子がわかりづらいたの声もいただいております。委員会の取り組みや活動状況等よりわかりやすくお伝えできればと思っております。議会報特別委員会の任期も折り返し点を迎えました。引き続き、わかりやすく、親しみやすい議会だよりをめざします。ご意見等ぜひお寄せください。

(幸)

